

耐火断熱間仕切壁 タイカダンパネルシリーズ

耐震強化型 タイカダンパネル

タイカダンR

耐震 + 耐火 断熱

下地不要／簡単施工／両面鋼板仕上



めいせい
明正工業グループ



スタイロ加工株式会社

防火区画の耐火壁には 高い耐震性能が絶対必要です。

大きな地震の後には「地震火災」が発生します。

耐火間仕切壁が地震により損傷すると、

火災被害の拡大を食い止めることができなくなります。

地震により間仕切壁が損傷・崩壊

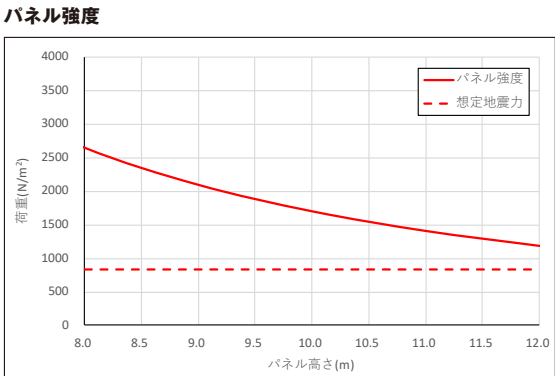


火災が隣の区画へ延焼





震度7相当の耐震実験で 優れた耐震性能を実証しました。



※物流倉庫で一般的な建物高さ30m、S造の一次固有周期数0.9秒において、気象庁の定める計測震度6.5＝震度7に相当する約600galの加速度にて試験体の足元を一定時間加震。

日本大学理工学部 大型構造物試験センター

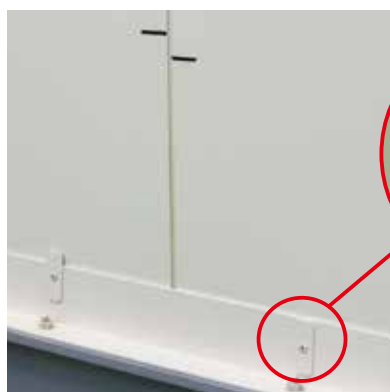
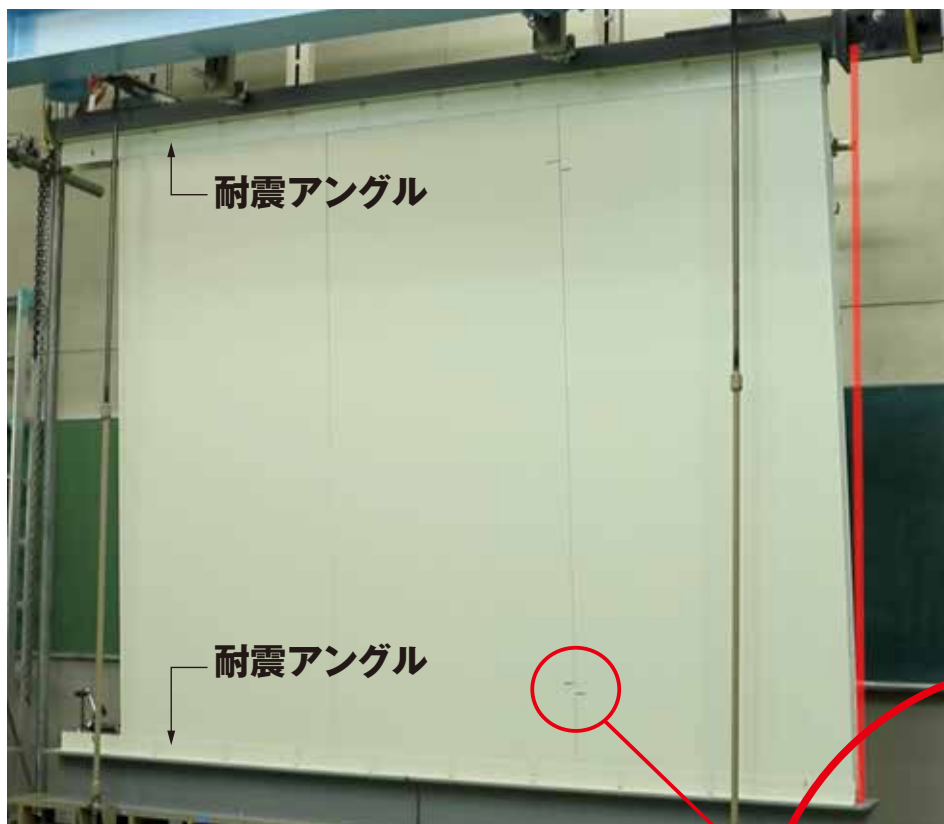
協力：日本大学理工学部 建築学科

	パネル高さ PH (メートル)	倉庫業法対応	耐震性能		熱伝導率 (W/m・K)
			層間変形角 1/30 (rad)	面外強度 震度7相当※に耐える	
タイカダンR	1.8 < PH ≤ 12	◎ (パネル高さ8メートルまで)	◎	◎	0.048

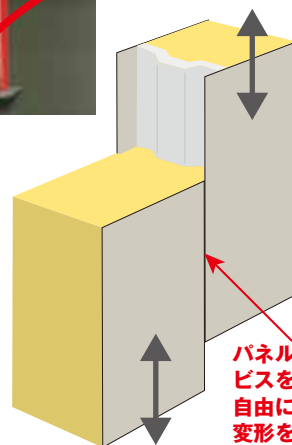
ノンビス構造と耐震アングルで 変形に追従し元通りに復元します。

特許
申請中

※繰り返す余震のたびに元通りに復元します。

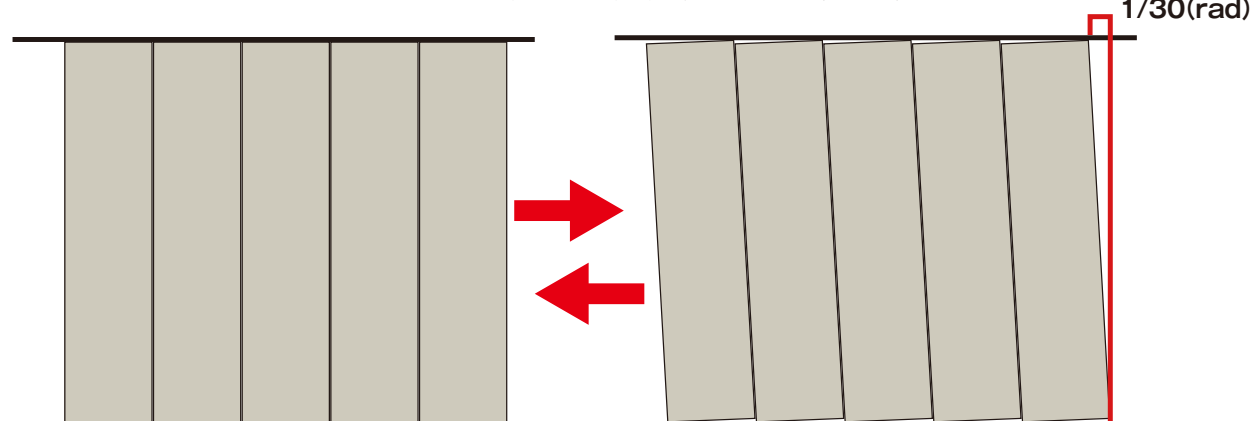


ビス穴の損傷も
ありません。



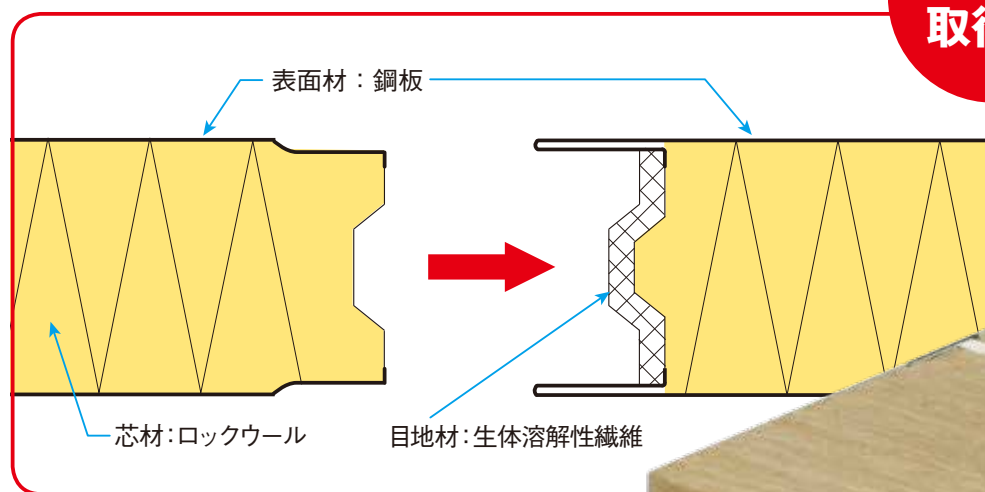
パネルのジョイント部に
ビスを使用しないので
自由にスライドし
変形を吸収します。

パネルが自由にロッキングし、最大層間変形角 $1/30$ (rad) まで追従

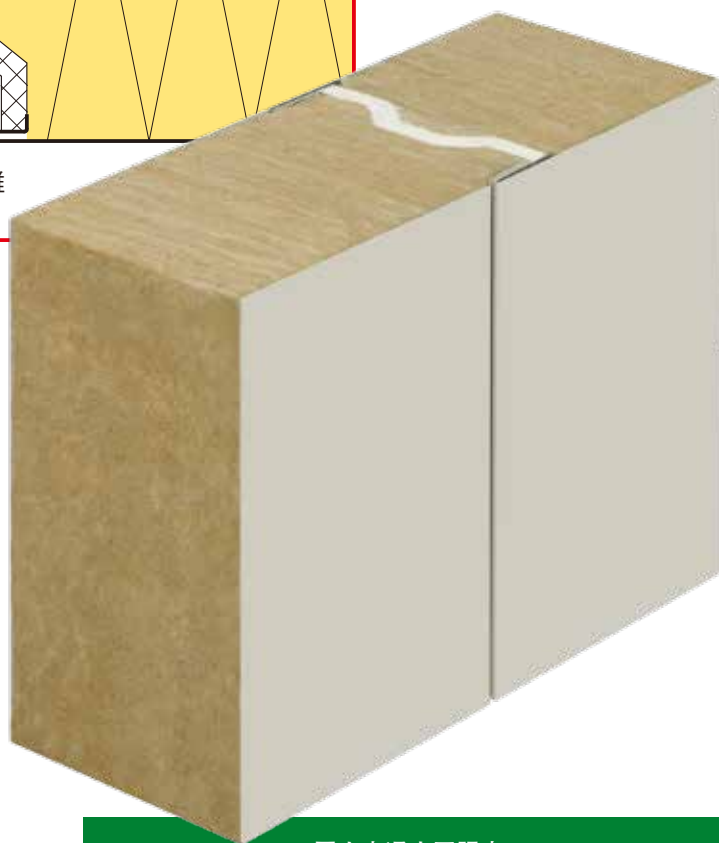


優れた耐火性と耐震性を生み出す ダブル 「Wオスメス構造」

特許
取得済



発がん性の無い
環境と人にやさしい
「生体溶解性繊維」の目地材

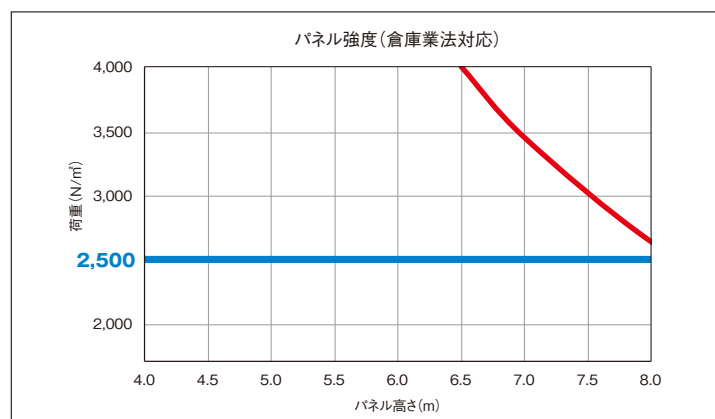


国土交通大臣認定
間仕切壁(非耐力壁)：1時間耐火 認定番号

FP060NP-0419

倉庫業法対応

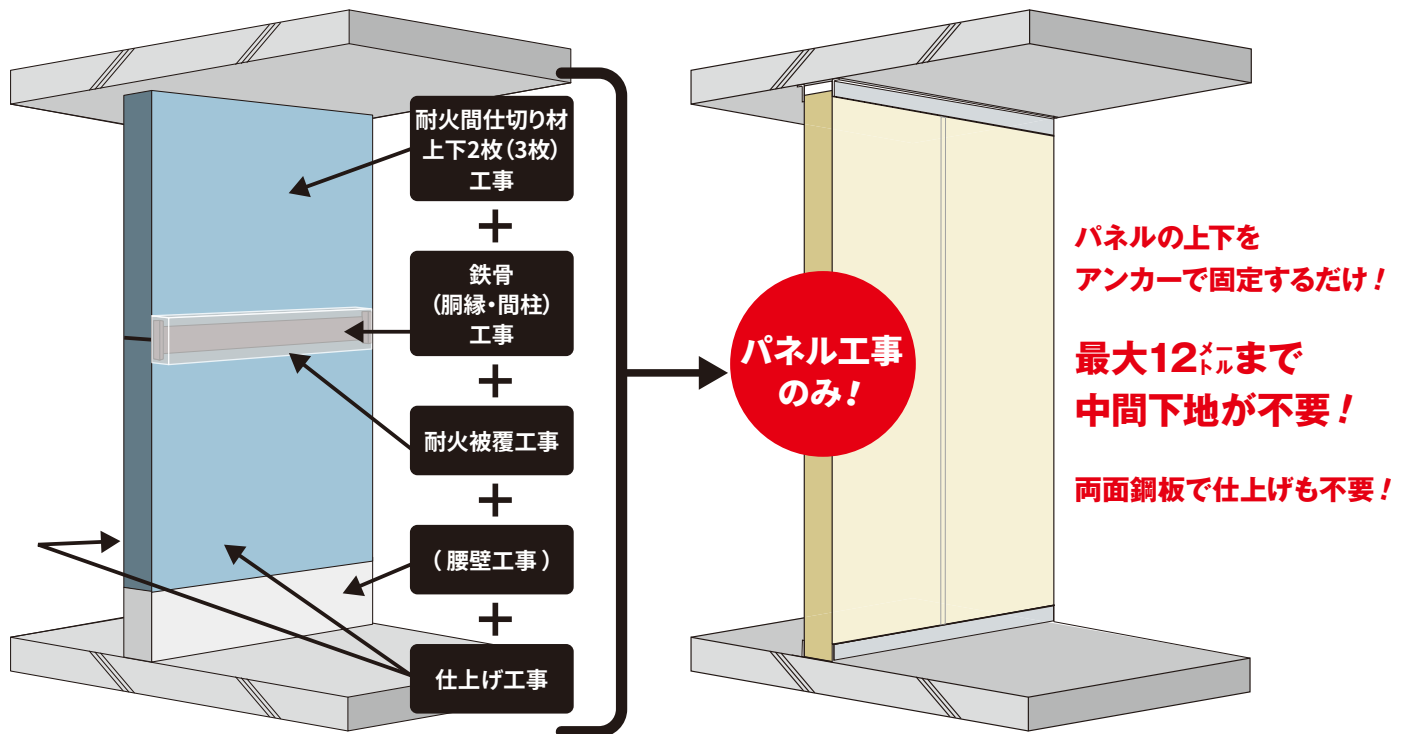
高さ8メートルまでパネル一枚で対応します（下地不要）



強度をさらに上げ、倉庫業法2500N/m²に階高8メートルまで対応する倉庫業法対応「スーパータイカダンR」をラインナップしています。

省施工だから短工期 トータルコストを低減できます

多数の工事が必要だった耐火間仕切壁が、パネル工事のみで完成します。
最大12メートルまで中間下地が不要なので、さらに省施工を実現。



施工支援ロボット「アイ・オクト」
i-OCT

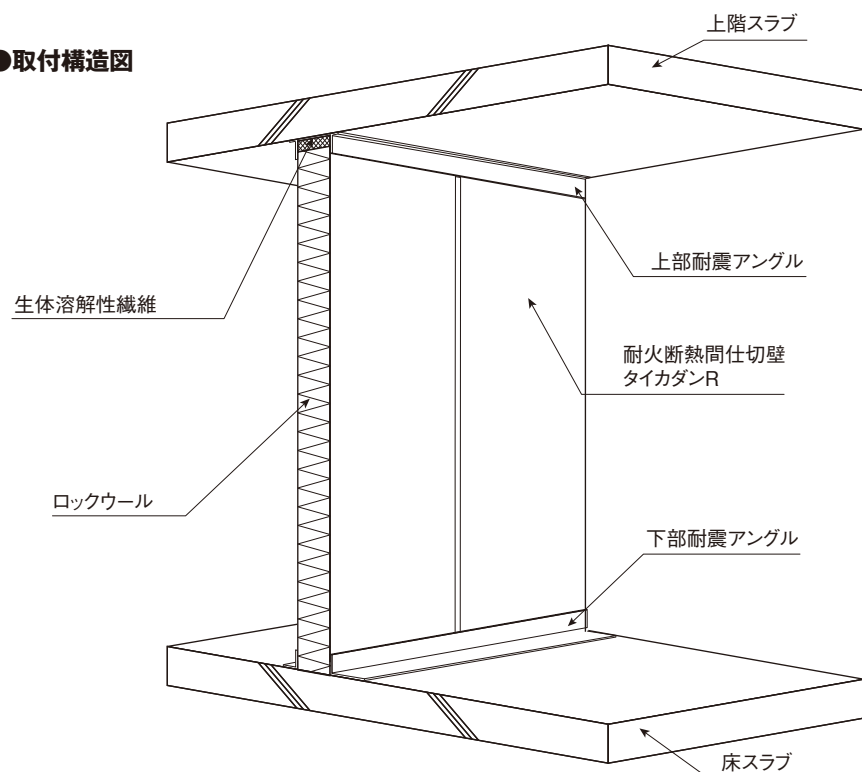
作業支援ロボットによる施工の省力化

当社が独自に開発した施工支援ロボット「i-OCT」（特許取得済）を利用することで、従来工法に比べ約2倍以上（当社調べ）のスピードで施工が可能となり、施工時の安全性も飛躍的に高まります。



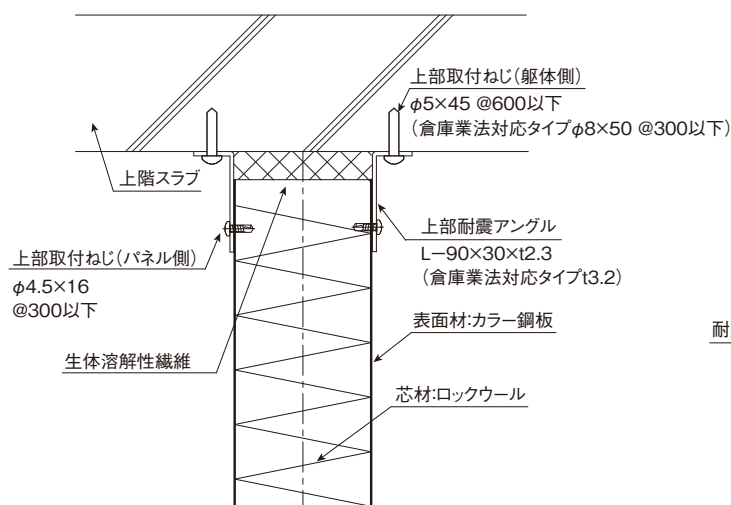
標準的な納まり

●取付構造図

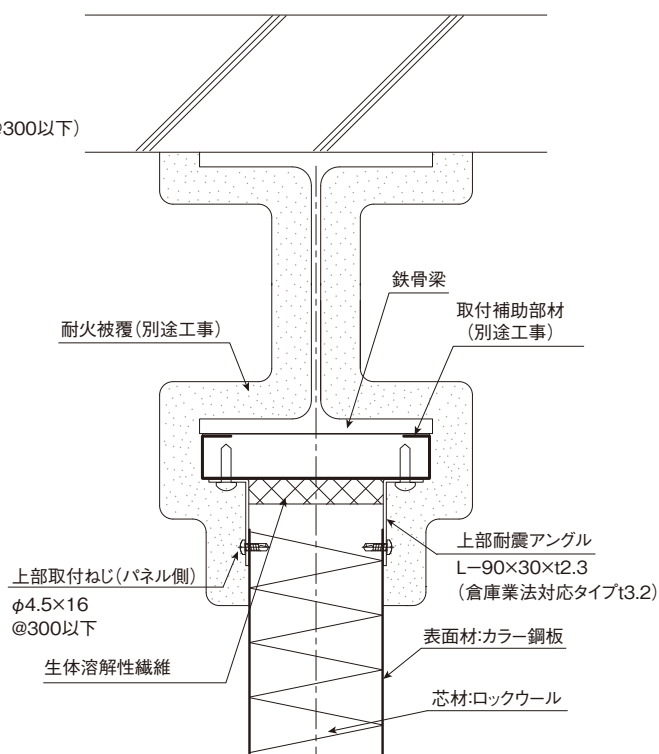


●上部 納まり図

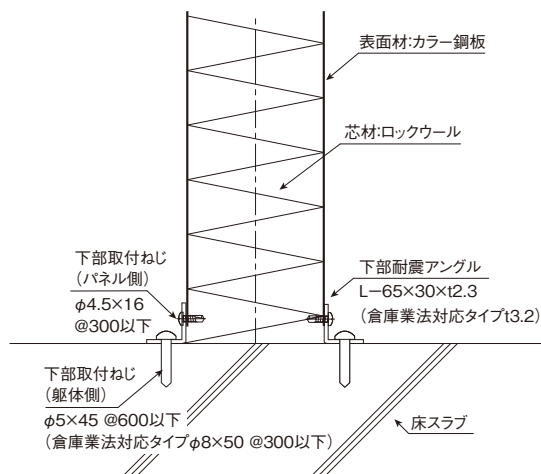
上部スラブ取合い部



梁取合い部

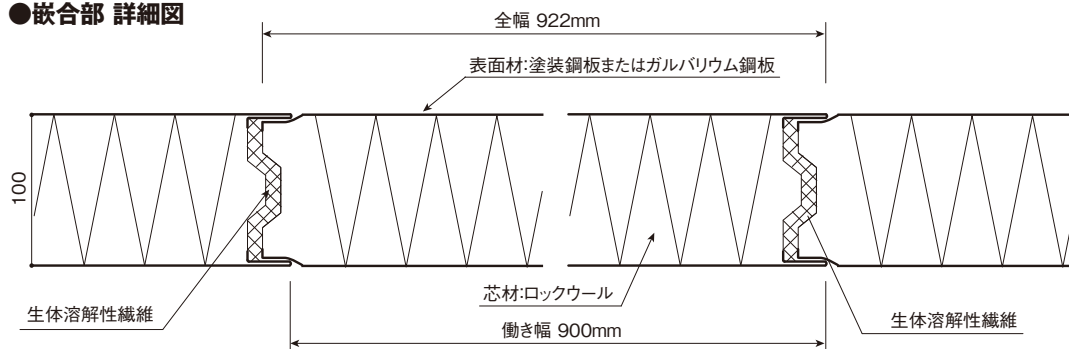


●下部 納まり図



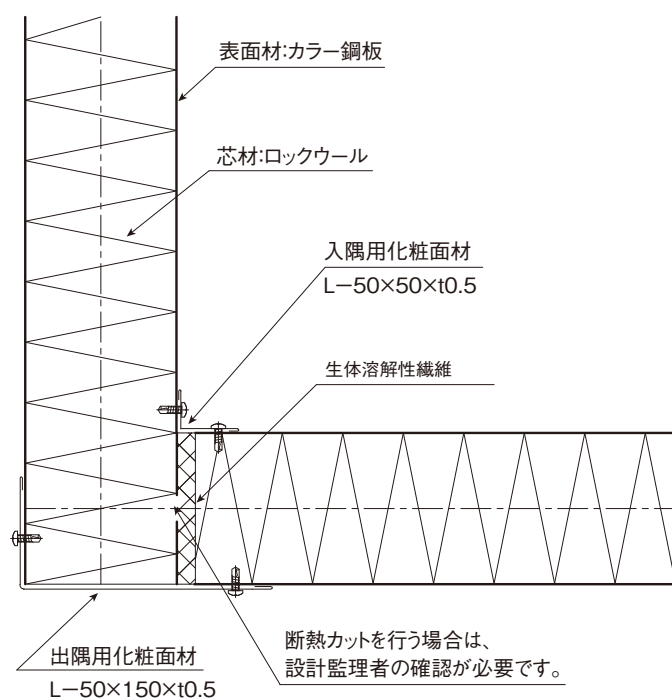
※梁取合い部は参考納まりのため、
建築主事の確認が必要です。

●嵌合部 詳細図

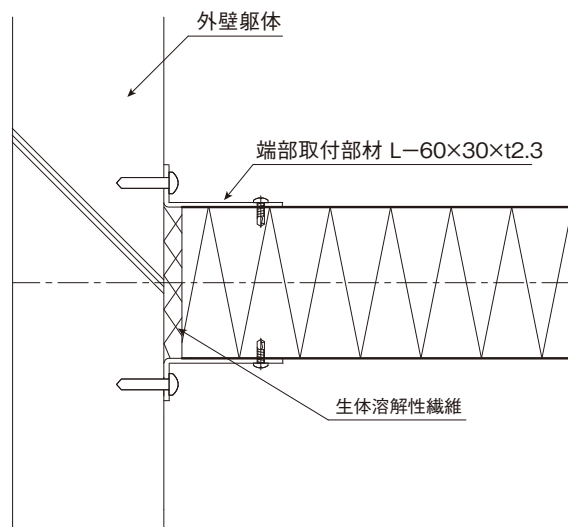


●水平取合い部 納まり図

コーナー部

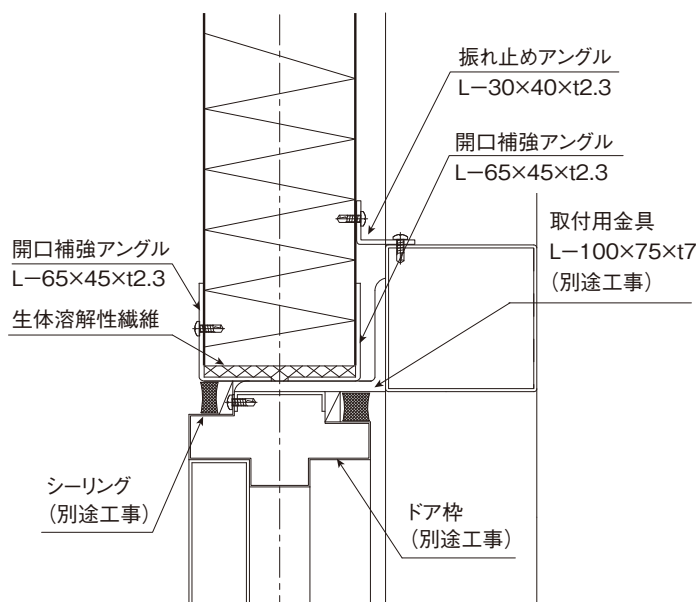


外壁取合い部

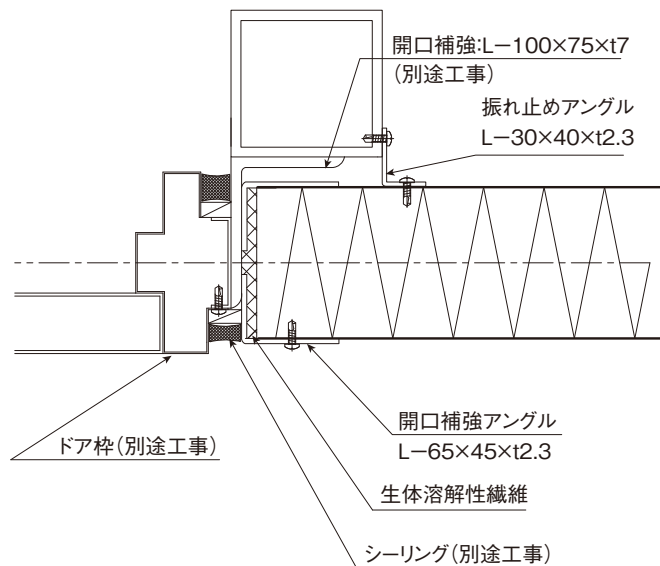


●建具開口部 納まり図

防火ドア取合い部 縦断面



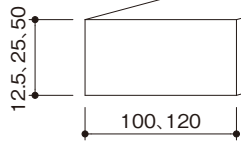
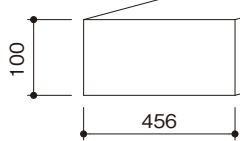
防火ドア取合い部 横断面



※コーナー部、外壁取合い部、防火ドア取合い部(縦断面・横断面)は参考納まりのため、建築主事の確認が必要です。

上部耐震アングル 部材記号 FR01	上部耐震アングル (倉庫業法対応タイプ用) 部材記号 FR02
寸 法: 30×90×t 2.3mm L3000 材 質: 熔融亜鉛めっき鋼板 使用部位: 上階スラブ	寸 法: 40×80×t 3.2mm L3000 材 質: 熔融亜鉛めっき鋼板 使用部位: 上階スラブ
下部耐震アングル 部材記号 FR03	下部耐震アングル (倉庫業法対応タイプ用) 部材記号 FR04
寸 法: 30×65×t 2.3mm L3000 材 質: 熔融亜鉛めっき鋼板 使用部位: 下階スラブ	寸 法: 40×65×t 3.2mm L3000 材 質: 熔融亜鉛めっき鋼板 使用部位: 下階スラブ
振れ止めアングル 部材記号 F04	入隅用化粧面材 部材記号 F06
寸 法: 40×30×t 2.3mm L3000 材 質: 熔融亜鉛めっき鋼板 使用部位: 開口部	寸 法: 50×50×t 0.5mm L3000 材 質: カラー銅板 使用部位: 入隅
出隅用化粧面材 部材記号 F07	開口補強アングル 部材記号 F09
寸 法: 150×50×t 0.5mm L3000 材 質: カラー銅板 使用部位: 出隅	寸 法: 65×45×t 2.3mm L3000 材 質: 熔融亜鉛めっき鋼板 使用部位: 開口部
アルミアングル 部材記号 F10	端部取付部材 部材記号 F11
寸 法: 38×38×t 1.5mm L4000 材 質: アルミ 使用部位: 入隅・出隅・見切取付	寸 法: 60×30×t 2.3mm L3000 材 質: 熔融亜鉛めっき鋼板 使用部位: 端部取付部

※標準以外の特注サイズも製作可能ですので、当社営業までご相談ください。

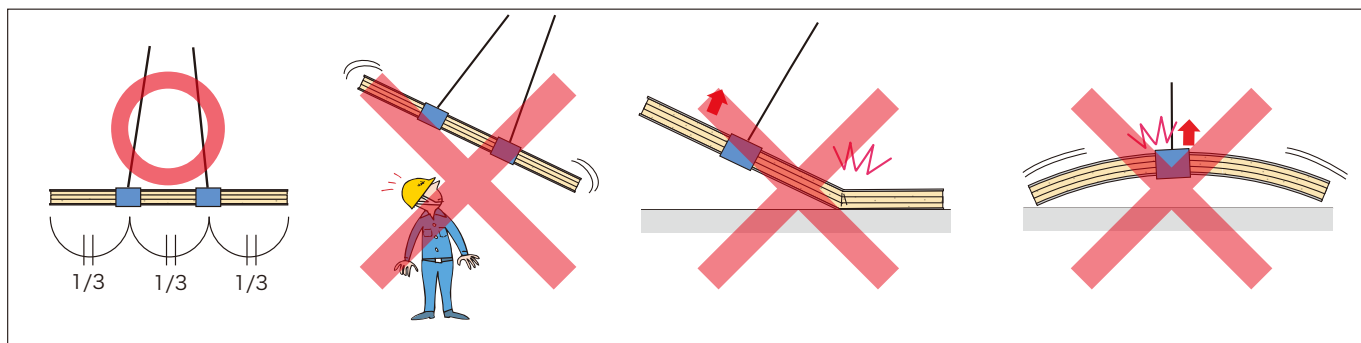
生体溶解性繊維	ロックウールブロック
	
● 12.5 × 100 × 14400mm ● 25 × 120 × 7200mm ● 50 × 100 × 3600mm	● 100 × 456 × 2000mm
ボルト類	
● テクスビス：φ 4.5 × 16 ● セルフタップアンカー：5 φ × 45 ● 六角テキスビス：φ 6 × 135 ● 六角テキスビス：5 φ × 45 ● アリンコトラス：φ 4 × 50	

ご注意

吊り上げは均等な箇所の「2カ所吊り」で

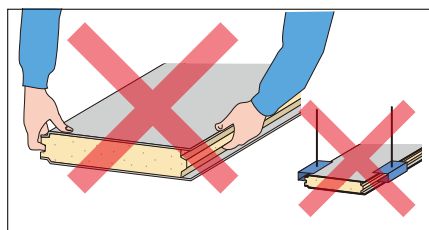
- 耐火断熱間仕切壁「タイカダンR」は十分な強度を有していますが、荷下ろし・施工の際に扱いを間違えますとパネルが折れる危険性があります。
- 下図のように必ず、パネル長さの均等な箇所の「2カ所吊り」を行ってください。
- またワイヤロープを直接商品にかけないでください。

- ★ 重量物ですので万一折れたり、吊り具がはずれたりしますと、重大事故につながります。吊り金具はパネルにしっかり固定してください。
- ★ パネル下や直近には人や物を絶対に近づけないでください。



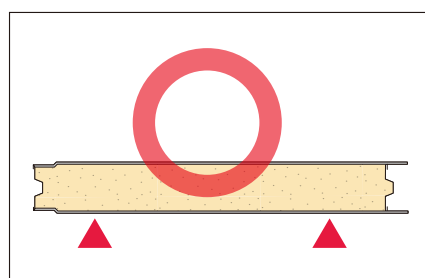
「ロックウール部」への接触禁止

- パネル端部(両サイド・上下)の「ロックウール部」には、手や治具で絶対に触らないでください。触るとロックウールが破損する恐れがあります。
- ロックウールが破損したり欠けたりすると、耐火・断熱性能に重大な問題を起こします。

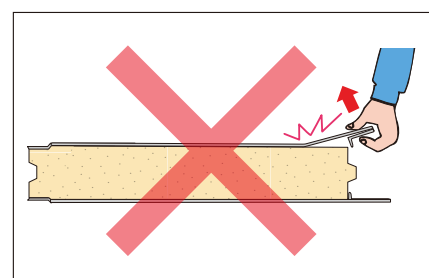


荷扱いと施工は、パネル下部の鉄板部を持つ

- 荷扱いや施工時は、下図のように(▲印箇所)パネル下部の鉄板部分を持って行ってください。



- 下図のように上部の鉄板部を持つと、鉄板がはがれたり、破損する恐れがあります。絶対にやめてください。



お願い

- 本カタログに掲載されている商品各種データは、商品の代表特性や性能を説明するものであり、保証値ではありません。
これらの情報は今後予告なしに変更する場合がありますので、最新の情報につきましては当社までお問い合わせください。

使用上のご注意

正しく安全に施工していただくために、
下記の注意事項や禁止事項に十分留意してください。



禁止

行ってはいけない
「禁止」事項です



注意

誤った取扱いをすると事故や
破損の原因となる事項です

1. 商品の納入

商品は車上渡しを原則としております。荷下ろしについてはお客さまにてご手配ください。



2. 運搬

商品の運搬や施工現場での搬入の際には、ワイヤロープを直接商品にかけないでください。



3. 保管

商品は梱包したままの状態でご保管ください。直ちに作業しない場合は絶対に屋外に置かないでください。雨水・水ぬれは厳禁です。



4. 取扱い方法

商品を地面や商品の上で引きずったりすると塗膜面に目に見えない擦りキズが発生します。美観を損なうだけでなく、耐久性にも影響しますので取扱いには十分にご注意ください。



5. 保護フィルムの除去について

耐火断熱間仕切壁「タイカダンパネル」の表面材には保護フィルムが貼り付けてあります。長期間放置しますと除去が困難になりますので、施工後1ヶ月以内に除去してください。

保護フィルムには静電気が帯電しているおそれがありますので、開梱後、パネルの取扱いおよび保護フィルム除去にはご注意ください。



6. パネルとコンクリートの接触について

表面材にガルバリウム鋼板を採用される場合、パネルとコンクリートが直接接触すると、コンクリートのアルカリ性によりパネルが腐食する可能性があります。パネル表面がコンクリートが直接接触ないように絶縁してください。

7. 塗膜面の補修

塗膜面に擦りキズなどがついた場合、専用の補修塗料により補修してください。

ただし、補修塗料で補修した場合は元の塗膜面と全く同一にはならず、注意して見ると判別できる程度になります。

なお塩分や酸など腐食の恐れがある場所では、露出切断端面の補修をお勧めいたします。



8. 加工

パネルの切断および孔開け時に出る切粉は、錆の発生原因となりますので必ず除去してください。



9. 取付部材・金具

当社の純正部材または当社指定の取付金具を使用してください。他の部材や誤った工法での不具合については責任を負いかねます。



10. 施工

高所作業においては、特に踏み抜きや滑落しないように注意してください。労働安全関連法規を遵守するとともに、安全作業の徹底に努めてください。



11. 化学・電食作用

コンクリートからのアルカリ溶液や酸、常時湿った木材、ステンレス・アルミ・銅・鉛等の異種金属が接触しないよう施工してください。



12. 汚れの清掃方法

清掃は汚れの種類によって方法が異なります。以下のように考えて行ってください。

- 埃、土埃の清掃には、家庭用中性洗剤を布にしみ込ませて拭き取ってください。汚れ除去後は必ず、水洗いしてください。
- 油汚れやペイント系の汚れおよび、もらい錆については、当社までご相談ください。なお、シンナー、ベンジンなどの溶剤による清掃は絶対に行わないでください。

お問合せは

めいせい

明正工業グループ MEISEI CORPORATION



スタイロ加工株式会社

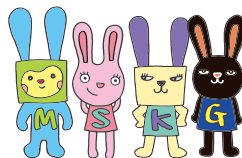
本社・工場 〒329-0311 栃木市藤岡町富吉1640-4
東京営業部 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-16-1
軽子坂田中ビル

加須工場・物流センター・加工センター

TEL.03-5261-2966 FAX.03-5261-2967

ホームページ <http://www.styrokakoh.co.jp>

販売元



いろいろな「個」があるからおもしろい

 明正工業株式会社